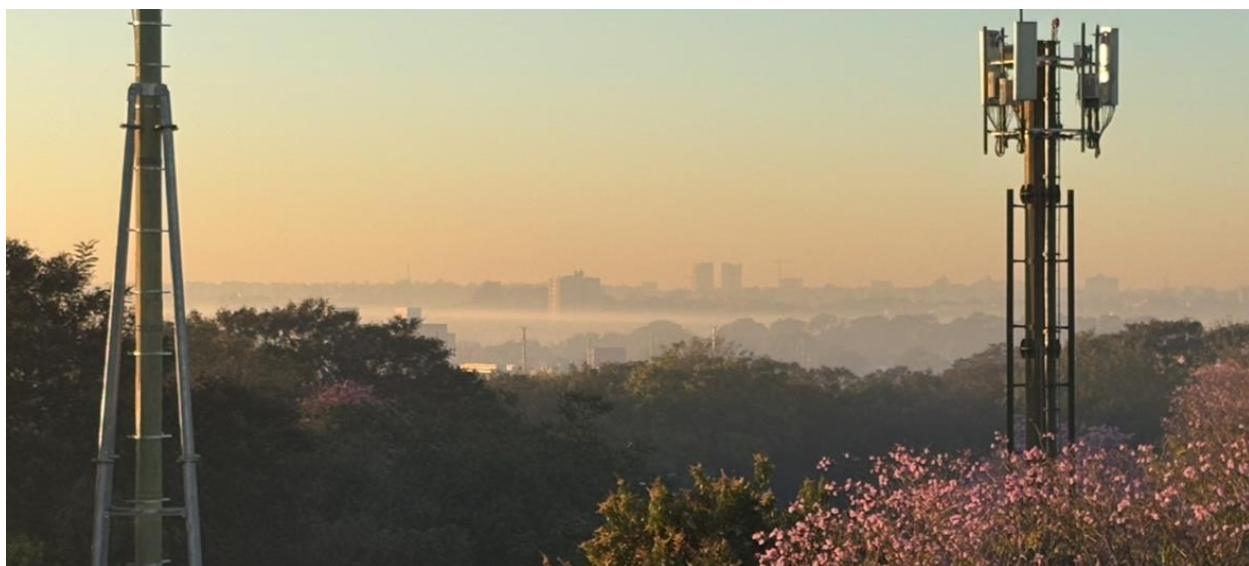




アスンシオン通信

シーズン2

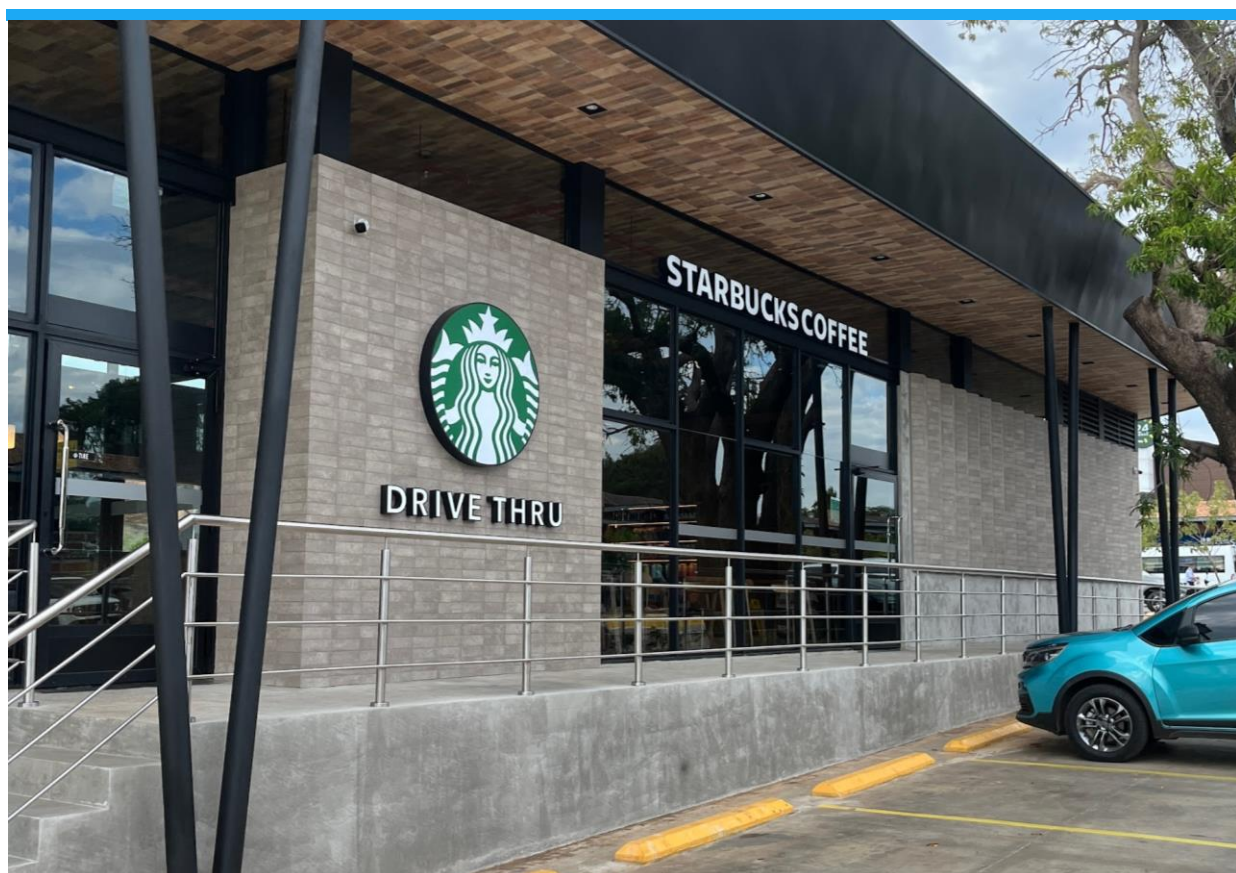
日付: 2025 年 9月11日 no.34

発行者: 田邊紘起

Hola a todos ! Que tal? Como están?

夏休みが明け、いよいよ2学期が始まりましたね。2学期も楽しい行事や活動が盛りだくさんです。たくさんの実りがある学期にできるとよいですね。

さて、今回は日本でも人気のあのカフェについて、日本との違いや共通するところを紹介します。広島県内にもいくつかお店がありますが、このロゴを見たことある人いますか？



ドライブスルーもあるスターバックス=plaza madero

そう、「スターバックス」です。日本では季節限定商品などもあって、とても人気のあるカフェですよ。実はアスンシオンにも何店舗があるので、地球の裏側のスターバックスコーヒーについて、日本のお店と比べながら紹介します。まずお店の雰囲気は、日本と同じでとてもオシャレな感じ。ただ、注文するのにメニューボードを見ると、日本の店で私がよく頼んでいた「トールサイズ」がありません。日本では「ショート」「トール」「グランデ」「ベンディ」という4つのサイズがありましたが、パラグアイは「アルト」「グランデ」「ベンディ」という3つのサイズ

だけです。「アルト」は日本の「ショート」サイズと同じような
 感じです。ということで、私は「スタバラテのグランデ」を注文
 して飲みました。ラテはホットしかないようです。



パラグアイ（上）と日本（下）の店を比べると、日本の方が品揃え・サイズとも多い

そして、日本で人気の「抹茶フラペチーノ」は、パラグアイのスターバックスにもありました。抹茶は世界中で人気ですね。

注文前にふと、カウンター横の皿を見ると、日本の店には絶対に見えないものを発見しました。スコーン（日本にもある）のとなりに、パラグアイの伝統的フードの「チパ」や「ベジュ」があるではないですか。何ともパラグアイらしいラインナップです。



チパやベジュもキレイにかざってありオシャレ=plaza madero

ちなみに、パラグアイにも「ご当地マグ（その地域でしか売っていないマグカップ）」があります。ダンサ・パラグアージャをはじめとするパラグアイならではのイラストが描かれていてとてもかわいいデザインでした。

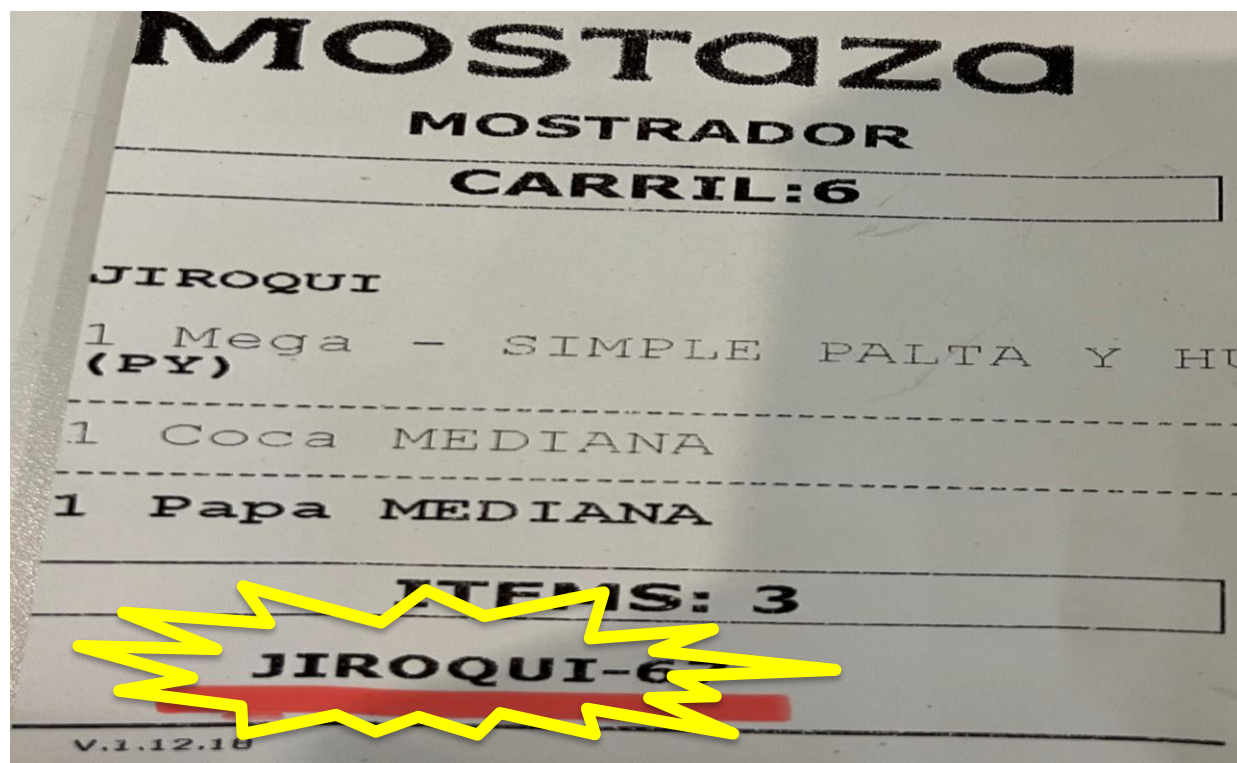


パラグアイならではのものがたくさん描かれたマグカップ=plaza madero

同じチェーン店でも、国や地域によって違いがあっておもしろいと思いました。また機会があれば、マクドナルドやピザハット

のように、日本にもパラグアイにもあるお店について比べてみたいと思います。

フードコートやカフェでは、注文した時に名前を聞かれることがあります。それは、でき上がった料理を渡す時、店員さんがお客さんを呼ぶためです。先日行ったお店で料理を頼んだら、名前を聞かれたので、「ヒロキ」というと、店員さんが「？」という顔をしました。なので、「ヒロキって書いて！」と書いてもらいました。数分後「ヒロキ！」と大きな声で店員さんが料理の完成を知らせてくれました。料理と共にレシートを受け取り、そこに書いてある自分の名前を見ると…



「ヒロキ」というと、店員さんは「JIROQUI」と書いた=paseo la galería

これは、日本人は書かない「ヒロキ」です。スペイン語の発音では、Jが「ハ行」を表すので「J I=ヒ」となります。「RO=ロ」はローマ字と一緒に、それに「QU I=キ」で、「JIROQUI」となり、「ヒロキ」と読みます。

タイトル写真について

先日とても冷え込んだ朝、外を見ると、霧（きり）がかっていました。三次は「霧（きり）のまち」として有名ですが、パラグアイに来て初めて霧の海（雲海）を見ました。朝焼けの空も美しく、朝からいやされました。ちなみに手前にある花はパラグアイでよく見られるラパーチョという木の花です。

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Grande（グランデ）：大きい

Mediano（メディアーノ）：ふつう

Pequeño（ペケーニョ）：小さい

サイズ（タマーニョ）を伝えたい時は、このような表現で相手に伝えることができます。服のサイズ（タジャ）は、L（エレ）M（エメ）S（エセ）で伝えることもあります。

次回について

次回はアスンシオンのスーパーマーケットを紹介します。

Chao chao ! nos vemos !